

大使杯空手選手権大会

在南スーダン日本国大使館

2017年5月まで5年間にわたり、UNMISS（国際連合南スーダン派遣団）に派遣された自衛隊施設部隊の有志の皆さんは、南スーダン空手連盟に対して空手指導を行っていました。

自衛隊員から教えを受けた南スーダンの空手家たちは、南スーダン空手連盟を立ち上げ、現在も毎日練習に励んでいます。

このような取組を支援すべく、在南スーダン日本国大使館は、2017年5月、2018年7月に大使杯空手選手権大会の開催を支援し、この大会は当地における空手の普及を通して、南スーダン人が日本の文化に触れる良い機会となっています。

2020年の東京オリンピックで公式種目となる空手への参加を夢見て、南スーダンの空手家たちは日夜練習に余念がありません。

また、UNMISSに派遣された自衛隊施設部隊が活動した5年間に、市内各所で修繕した道路は、南スーダン市民から非常に感謝されました。特に、ジュバ市内中心部からUNハウスに向かう道の整備は、地元の方々から感謝の声が上がっていました。